

I 多様な雇用・就労の場の創出に向けた取り組み（案）

1 グループ（重要課題）

重要度・緊急度	第1位	第2位	第3位
解決課題	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ②集積された地域資源活用	I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出 ④町内の企業情報や求人情報の一元的な提供	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ⑥ブルーツーリズムやグリーンツーリズム、エコツーリズムの推進
内 容	道の駅、みなと交流館、フェリー乗り場、キャンプ場、テニスコート、総合体育館、各種生涯スポーツ施設、海峡横綱ビーチ、横綱記念館、青函トンネル記念館等のレジャー観光資源と水産物、農産物等地元産品の活用と、多様なイベント開催・連動によりレジャー・スポーツ、観光の仕事化を進め、町の個性のPRと働く場、出会いの場を拡充する。	水産業の町として水産業（昆布等）で所得を得られることや、町内企業の求人情報等を若者に一元的に提供する。	水産物、農産物等の地域特産品のブランド化と地産地消の推進と、観光資源との連動した産業の活性化に努める。
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・体験観光のメニュー作りと販売 ・PRをもっと行う。営業をする。（ネット、どさんこワイドなど） ・観光協会の法人化（施設管理で収益を安定させる） ・施設全体で同時にイベントを起こす（同日開催は無理でも、夏休みや秋の観光シーズンなどに期間を絞って、イベントウィークをつくる） ・イベントを集中化させ、プレゼント付きスタンプラリー等を組み込むことにより回遊性を起こすなどの付加価値を生み出す。 <p>※観光の産業化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報の明確化（業者の情報を書面で役場が呼びかける。また、インターネット、ハローワークも活用する）ロコミ、コネだけではダメ。 ・高校生に対し、収入などの業界情報、求人情報などを集約した情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食のイベントを開催する（かきニラ祭りのように） ・千軒そば、トウモロコシ（夢みらい）、昆布、イカ、ブルーベリー、黒米等の地場産品の生産者を増やしPRする。 ↓ ・担い手を募集（福島商業高校、水産高校へ、町外者へ募集） ・町の助成金
住民・事業者等の役割		・積極的な情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの食卓への取り込みと、ロコミ等によるPRへの積極的な参加 ・どこまで生産者が本気かわからない
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・まちおこし協力隊（福島町観光協会）との連携 ・「福島地域マリナビジョン」との調和も今後の検討課題 	・3-①情報ステーションの設置との関連性	・生産者への支援（助成）のあり方の検討

1 グループ

重要度・緊急度			
解決課題	I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出 ①スモールビジネス、コミュニティビジネス等の起業に向けた支援策の充実	I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出 ②若者、女性等への就労支援を拡充	I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出 ③生活店舗、娯楽施設の誘致、豊かで潤いのある生活環境づくりの推進
内 容	市街地にある利用可能な遊休施設については、安全性を確保したうえで、若者や家庭や子どもを持つ女性の新たな雇用・就労の場として、目的、活用方法を明確化し、生活関連サービス提供拠点として活用する。 <div data-bbox="685 583 1115 709" style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; display: inline-block;"> どの程度の範囲迄無料にするとか、条件等のイメージはありますか。 </div>	中高校生の職場体験、若者、女性等への技術習得機会を多様化、拡充する。 若者の自立に向けた地域教育や就職（再就職）支援のための学習機会や起業支援、アラサー・アラフォー世代の女性のニーズに応じたキャリア活用、キャリアアップの機会を創出する。	商店主等の協力を得て、イカ・昆布など地域の特産品の活用と、カフェ、ファミレス等の飲食、ファッション衣料店、書店、CDショップ、ゲームセンター、カラオケ等の誘致により若者、女性の就労の場を拡充する。
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップ、空き店舗を無料で貸出、起業を支援する。 ・利用可能な遊休施設を明確化し、維持費をデータ化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャースクール（料理教室や資格取得支援） ・職業体験の長期化、助成（インターシップなど中高生以外にも） 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗を活用して娯楽施設を造り、若者の目を町内へ ・特産品の販売施設を造る（町外者へのPR）
住民・事業者等の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・利用可能な施設等の情報提供への協力。 		民営で運営
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップの開設（若者や女性グループ、福島商業高校生等へ共創の働きかけ） ・町産品（水産物、農産物）等の直販所の設置（福島商工会、観光協会との連携） ・利用可能な町内遊休地、施設の把握（空き施設バンク、まちづくり会社の設立） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中高校生の課外授業として連携（中高校との取り組みについて、教育委員会、学校等の連携） ・若者や女性層の職場体験を通じて仕事の適性や職を通した「自己実現」の「気づき」へ橋渡しする。（生涯学習の仕組みの検討） ・情報ステーションの整備との連動（福島版ジョブカフェ、地域若者サポートステーションの機能の付加） 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内各商店との連携方法の検討（商工会、商店街連合会等との連携）

1 グループ

重要度・緊急度			
解決課題	I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出 ⑤就労機会、異性との出会い・交流機会づくり	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ①公設民営市場の開設等で若者の職場づくり、出会い・交流の場づくり	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ③地域の食材（豊富な水産・農産物）を使った飲食サービス等の起業支援
内 容	若者や女性が安心して就労できる環境を整えると同時に、就労の場での出会い・交流を拡充する機会づくりを推進する。	若者自身が求める環境（飲食・出会い、交流等）づくりに参加できる場として、また子育て中の母親の就労の場として、遊休施設を活用し公設民営市場等（地場産品活用のフードコート等）の設置により、新たな職種の開発を進める。	「食」をテーマとした新産業の育成と地域内回遊性の創出（中・外食等飲食）
取り組み	・街婚イベントの開催	※1-①と同じ ・アンテナショップ、空き店舗を無料で貸出、起業を支援する。 ・利用可能な遊休施設を明確化し、維持費をデータ化する。	・グルメコンテストの実施 ・地元の料理の洗い出し
住民・事業者等の役割			
備 考	・チャレンジショップの展開		※2-④との関連性は ・地域の「食」の見直しと整理 ・農村生活改善グループとの連携（水産商工課・ふくしま健康料理レシピ郷土料理編） ・イカ、昆布等水産物、千軒そば、黒米（夢むらさき）、シイタケ、トウモロコシ等の地場産品の地域内ブランド化

1 グループ

重要度・緊急度			
解決課題	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ④福島町の家庭の「食」のブランド化	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ⑤地元の木材（林業）活用による林業の活性化	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ⑦アクティブシニアと若者の協働
内 容	「B級グルメ、地域内消費⇒マーケット拡大・全国発信」 地域の特産品、名物づくりの基本は地域の資源のブランド化にあります。町内の家庭でのイカ料理等から新たなブランドづくりを進める。	伐採事業を利用して木育や体験交流を促進し、雇用と交流人口を拡充する。	シニアが有するその豊富な知恵と技術、経験を活かし、自らの可能性を拓ける「起業の場」を若者に提供し、地域資源を最大限に活かして、若者と共に幅広い方面で活躍する「活動の場」を創出する。
取り組み	※1-③と同じ ・グルメコンテストの実施 ・地元の料理の洗い出し	・木工体験を行う ・グリーンツーリズムの推進（殿様街道） ・木のブランド化、品質の調査	・シニアが若者へ知恵や技術、経験を教える。 ・シニアが持っている知恵・技術を明確化し公開する。
住民・事業者等の役割			
備 考	※2-③との関連性は。 ・地域の「食」の見直しと整理 ・農村生活改善グループとの連携（水産商工課・ふくしま健康料理レシピ郷土料理編） ・イカ、昆布等水産物、千軒そば、黒米（夢むらさき）、シイタケ、トウモロコシ等の地場産品の地域内ブランド化		・仕組み等についての具体的な提案はありませんか？

1 グループ

重要度・緊急度			
解決課題	I-3. 雇用・就業・起業支援等の情報ステーションの設置 ①雇用・就業・起業支援等の情報ステーションの設置		
内 容	町内に求人・求職・起業支援等の情報が一元化された相談場所を設置することにより、若者に町内企業の雇用情報等を的確に提供し、水産業の発展可能性を積極的に伝えるなど、水産業への実知識を高めることで、町内での就業機会を拡充する。 また、地域の商工業従事者や勤労者の仕事のための学習機会を提供し、学びと仕事の連動をめざす。		
取り組み	※1-④と同じ ・求人情報の明確化（業者の情報を書面で役場が呼びかける。また、インターネット、ハローワークも活用する）ロコミ、コネだけではダメ。 ・高校生に対し収入などの業界情報、求人情報など集約した情報を提供する。		
住民・事業者等の役割			
備 考			

I 多様な雇用・就労の場の創出に向けた取り組み（案）

2 グループ（重要課題）

重要度・緊急度	第1位	第2位	第3位
解決課題	I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出 ③生活店舗、娯楽施設の誘致、豊かで潤いのある生活環境づくりの推進	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ④福島町の家庭の「食」のブランド化	I-3. 雇用・就業・起業支援等の情報ステーションの設置 ①雇用・就業・起業支援等の情報ステーションの設置
内 容	商店主等の協力を得て、イカ・昆布など地域の特産品の活用と、カフェ、ファミレス等の飲食、ファッション衣料店、書店、CDショップ、ゲームセンター、カラオケ等の誘致により若者、女性の就労の場を拡充する。	「B級グルメ、地域内消費⇒マーケット拡大・全国発信」 地域の特産品、名物づくりの基本は地域の資源のブランド化にあります。町内の家庭でのイカ料理等から新たなブランドづくりを進める。	町内に求人・求職・起業支援等の情報が一元化された相談場所を設置することにより、若者に町内企業の雇用情報等を的確に提供し、水産業の発展可能性を積極的に伝えるなど、水産業への実知識を高めることで、町内での就業機会を拡充する。 また、地域の商工業従事者や勤労者の仕事のための学習機会を提供し、学びと仕事の連動をめざす。
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップ⇒町内にもつくる ・道の駅に食堂をつくる ・特産品を1箇所に集める ・温泉に食堂（千軒そば） <p>◎アンテナショップについて 店として美味しいものは福島町内に幾つもあるが、それが今、点として存在しているのが現状である。そこでそれらを集約する場として（道の駅の中に）食事ができる場所を作る。 これは、雇用の創造にも一役買い、また、職のブランド化にも有効であり、2-①、2-③、2-④にも関連がある ★点として存在しているもの例 千軒そば、黒米、横綱スルメ、やわらか昆布、千切り昆布、昆布塩、なりやさんのケーキ、ばんらい軒さんのギョウザ、タイムさんのタイム風焼きそば e t c。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップの運営 1-③と関連 「ちゃんこ鍋」⇒高校生に協力得て考えてもらう 地域の人を対象にしたコンテスト（賞金） ★コンテストについて： 町のホームページ上で紹介されているレシピや、高齢者向けの食事としてのブランド化など。 <p>※重要度は低い、緊急度は高い（実現することは難しくない）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福島町のハローワークを創り、そこで町の人を雇用する。 ★ポイント： 近隣町（4町）を対象にして対応（設置するハローワークを通して雇用したら補助金等を出す）。高校等に働きかける。 ハローワークは町（行政）が設立するが、外部化し運営は人を雇い雇用を発生させる。ハローワークには就職支援・相談の窓口も設置 ・インターシップ、水産、農林の担い手等もハローワークで管理し、企業への就職とあわせて提案できるようにする。 <p>※1-②に連動</p> <p>※重要度は中、緊急度は高い（費用は少なくする方法を検討する）</p>
住民・事業者等の役割	民営で運営	コンテストへの参加	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等は情報を積極的に提供する。 ・公設民営として運営する。
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創造や食に関するブランド化等に有効と思われるので、重要度、緊急度ともに高い ・町内各商店との連携方法の検討（商工会、商店街連合会等との連携） 	<p>※2-③との関連性は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の「食」の見直しと整理 ・農村生活改善グループとの連携（水産商工課・ふくしま健康料理レシピ郷土料理編） ・イカ、昆布等水産物、千軒そば、黒米（夢むらさき）、シイタケ、トウモロコシ等の地場産品の地域内ブランド化 	<ul style="list-style-type: none"> ・福島版ジョブカフェ、地域若者サポートステーションの機能の付加

2 グループ

重要度・緊急度			
解決課題	<p>I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出</p> <p>①スモールビジネス、コミュニティビジネス等の起業に向けた支援策の充実</p>	<p>I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出</p> <p>②若者、女性等への就労支援を拡充</p>	<p>I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出</p> <p>④町内の企業情報や求人情報の一元的な提供</p>
内 容	<p>市街地にある利用可能な遊休施設については、安全性を確保したうえで、若者や家庭や子どもを持つ女性の新たな雇用・就労の場として、目的、活用方法を明確化し、生活関連サービス提供拠点として活用する。</p>	<p>中高校生の職場体験、若者、女性等への技術習得機会を多様化、拡充する。</p> <p>若者の自立に向けた地域教育や就職（再就職）支援のための学習機会や起業支援、アラサー・アラフォー世代の女性のニーズに応じたキャリア活用、キャリアアップの機会を創出する。</p>	<p>水産業の町として水産業（昆布等）で所得を得られることや、町内企業の求人情報等を若者に一元的に提供する。</p>
取り組み		<p>・町外の若者の職場体験（インターシップ） お試し期間（雇用）</p> <p>・子どもの面倒を見る場所に、子育てを終えた母などを集める。</p> <p>※3-①と連動</p> <p>・福島町のハローワークを創り、そこで町の人を雇用する。</p> <p>★ポイント：</p> <p>近隣町（4町）を対象にして対応（設置するハローワークを通して雇用したら補助金等を出す）。高校等に働きかける。</p> <p>ハローワークは町（行政）が設立するが、外部化し運営は人を雇い雇用を発生させる。ハローワークには就職支援・相談の窓口も設置</p> <p>・インターシップ、水産、農林の担い手等もハローワークで管理し、企業への就職とあわせて提案できるようにする。</p>	<p>・福島町のハローワーク</p>
住民・事業者等の役割			<p>・積極的な情報提供</p>
備 考		<p>・中高校生の課外授業として連携（中高校との取り組みについて、教育委員会、学校等の連携）</p> <p>・若者や女性層の職場体験を通じて仕事の適性や職を通した「自己実現」の「気づき」へ橋渡しする。（生涯学習の仕組みの検討）</p> <p>・情報ステーションの整備との連動（福島版ジョブカフェ、地域若者サポートステーションの機能の付加）</p>	<p>・3-①情報ステーションの設置と連動</p>

集めて何をしますか？イメージはありますか。

2グループ

重要度・緊急度			
解決課題	I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出 ⑤就労機会、異性との出会い・交流機会づくり	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ①公設民営市場の開設等で若者の職場づくり、出会い・交流の場づくり	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ②集積された地域資源活用
内 容	若者や女性が安心して就労できる環境を整えると同時に、就労の場での出会い・交流を拡充する機会づくりを推進する。	若者自身が求める環境（飲食・出会い、交流等）づくりに参加できる場として、また子育て中の母親の就労の場として、遊休施設を活用し公設民営市場等（地場産品活用のフードコート等）の設置により、新たな職種の開発を進める。	道の駅、みなと交流館、フェリー乗り場、キャンプ場、テニスコート、総合体育館、各種生涯スポーツ施設、海峽横綱ビーチ、横綱記念館、青函トンネル記念館等のレジャー観光資源と水産物、農産物等地元産品の活用と、多様なイベント開催との連動によりレジャー・スポーツ、観光の仕事化を進め、町の個性のPRと働く場、出会い・交流の場を拡充する。
取り組み		アンテナショップを作る。 ※1-③にも関連あり ◎アンテナショップについて 店として美味しいものは福島町内に幾つもあるが、それが今、 <u>点として存在</u> しているのが現状である。そこでそれらを集約する場として（道の駅の中に）食事ができる場所を作る。 これは、雇用の創造にも一役買い、また、職のブランド化にも有効であり、2-③、2-④にも関連がある	・合宿の誘致（豊かな自然を活用した体力づくりの場として） 例：「横綱の里」として、相撲に力を入れていることを踏まえ、相撲部等。 <div data-bbox="2398 829 2813 976" style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; display: inline-block;"> 合宿の町のイメージ、合宿施設スタイルの規模等ほどの程度の物を想定しますかを考えていますか？ </div>
住民・事業者等の役割			
備 考			・まちおこし協力隊（福島町観光協会）との連携 ・「福島地域マリンビジョン」との調和も今後の検討課題

2グループ

重要度・緊急度			
解決課題	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ③地域の食材（豊富な水産・農産物）を使った飲食サービス等の起業支援	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ⑤地元の木材（林業）活用による林業の活性化	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ⑥ブルーツーリズムやグリーンツーリズム、エコツーリズムの推進
内 容	「食」をテーマとした新産業の育成と地域内回遊性の創出（中・外食等飲食）	伐採事業を利用して木育や体験交流を促進し、雇用と交流人口を拡充する。	水産物、農産物等の地域特産品のブランド化と地産地消の推進と、観光資源との連動した産業の活性化に努める。
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・時間にゆとりのある奥さん方を中心としたカフェレストラン。 ※個別テーマ：「1-③生活店舗、娯楽施設～」にも関連あり ・アンテナショップ→町内にもつくる。 ・道の駅に食堂をつくる ・特産品を1箇所に集める ・温泉に食堂（千軒そば） 	<ul style="list-style-type: none"> ・林業の現状をPRする。 ・木材を安く提供できるようにする。 ・福島で家を建てると、補助金など特典が付く。 <p style="text-align: center;">町内の木材で可能ですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作業体験型ツアーの中で「こんぶ」の体験作業をしてもらう（お金がもらえるツアー） ・作業体験型ツアー参加者への作業体験謝礼のあり方の検討
住民・事業者等の役割			
備 考	<p>※2-④との関連性は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の「食」の見直しと整理 ・農村生活改善グループとの連携（水産商工課・ふくしま健康料理レシピ郷土料理編） ・イカ、昆布等水産物、千軒そば、黒米（夢むらさき）、シイタケ、トウモロコシ等の地場産品の地域内ブランド化 		

2グループ

重要度・緊急度			
解決課題	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ⑦アクティブシニアと若者の協働		
内 容	シニアが有するその豊富な知恵と技術、経験を活かし、自らの可能性を拓ける「起業の場」を若者に提供し、地域資源を最大限に活かして、若者と共に幅広い方面で活躍する「活動の場」を創出する。		
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・学童にシニアの人材活用 ・シニアへの就職支援 <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> どのような学童クラブのあり方を考えていますか？ </div>		
住民・事業者等の役割			
備 考	・ 仕組み等についての具体的な提案はありませんか？		

I 多様な雇用・就労の場の創出に向けた取り組み (案)

3 グループ (重要課題)

重要度・緊急度	第1位	第2位	第3位
解決課題	I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出 ②若者、女性等への就労支援を拡充	I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出 ③生活店舗、娯楽施設の誘致、豊かで潤いのある生活環境づくりの推進	I-2. 新たな産業 (商・観光等) の創出 ②集積された地域資源活用
内 容	<p>中高校生の職場体験、若者、女性等への技術習得機会を多様化、拡充する。</p> <p>若者の自立に向けた地域教育や就職 (再就職) 支援のための学習機会や起業支援、アラサー・アラフォー世代の女性のニーズに応じたキャリア活用、キャリアアップの機会を創出する。</p>	<p>商店主等の協力を得て、イカ・昆布など地域の特産品の活用と、カフェ、ファミレス等の飲食、ファッション衣料店、書店、CDショップ、ゲームセンター、カラオケ等の誘致により若者、女性の就労の場を拡充する。</p>	<p>道の駅、みなと交流館、フェリー乗り場、キャンプ場、テニスコート、総合体育館、各種生涯スポーツ施設、海峽横綱ビーチ、横綱記念館、青函トンネル記念館等のレジャー観光資源と水産物、農産物等地元産品の活用と、多様なイベント開催との連動によりレジャー・スポーツ、観光の仕事化を進め、町の個性のPRと働く場、出会い・交流の場を拡充する。</p>
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験の充実 (他町へ行く等) ・長期的な資格取得講座 ・商業高校で一般向けに技術取得の講座 (夏休み等に先生に協力してもらえないか? 福島町ジョブカフェみたいなものがないか?) ・女性が興味を持つような習い事や教室を開く。 ・モニター (ブログ) の就労支援 ・イカ刺しを作る教室や、千軒そば打ち教室を行う。 ・地元の物を使ったB級グルメなどをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「千軒そば」のような、地域の食材を使った飲食店の経営→ブランド化や観光PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・吉岡海底を使用できるように整備する ・外向けに発信できるような、飲食店、記念館、道の駅を合体したような施設。
住民・事業者等の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や教養を高め就労してもらう ・自らの知識や教養を高めてもらう 		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・中高校生の課外授業として連携 (中高校との取り組みについて、教育委員会、学校等の連携) ・若者や女性層の職場体験を通じて仕事の適性や職を通した「自己実現」の「気づき」へ橋渡しする。(生涯学習の仕組みの検討) ・情報ステーションの整備との連動 (福島版ジョブカフェ、地域若者サポートステーションの機能の付加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内各商店との連携方法の検討 (商工会、商店街連合会等との連携) 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちおこし協力隊 (福島町観光協会) との連携 ・「福島地域マリンビジョン」との調和も今後の検討課題

例示的な科目・期間はありますか?

ここで、実施した得られた結果をI-1-①でどの様な形態にして、I-1-①にどの様にしてつなげていきますか。

実現の可能性は低いとされていますか?

どの程度の施設規模、スタイルを考えていますか。

3 グループ

重要度・緊急度			
解決課題	I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出 ①スモールビジネス、コミュニティビジネス等の起業に向けた支援策の充実	I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出 ④町内の企業情報や求人情報の一元的な提供	I-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出 ⑤就労機会、異性との出会い・交流機会づくり
内 容	市街地にある利用可能な遊休施設については、安全性を確保したうえで、若者や家庭や子どもを持つ女性の新たな雇用・就労の場として、目的、活用方法を明確化し、生活関連サービス提供拠点として活用する。	水産業の町として水産業（昆布等）で所得を得られることや、町内企業の求人情報等を若者に一元的に提供する。	若者や女性が安心して就労できる環境を整えるとともに、就労の場での出会い・交流を拡充する機会づくりを推進する。
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土日も開放している保育施設等（学童、保育施設はあるが土日は開いていないため）。 ・ 体育館と福祉センターをくっつけたような運動施設と文化施設を合体した施設（老人も子どもも集まりやすい） <p>※1-②に関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場体験の充実（他町へ行く等） ・ 長期的な資格取得講座 ・ 商業高校で一般向けに技術取得の講座（夏休み等に先生に協力してもらえないか？ 福島町ジョブカフェみたいなものがないか？） ・ 女性が興味を持つような習い事や教室を開く。 ・ モニター（ブログ）の就労支援 ・ イカ刺しを作る教室や、千軒そば打ち教室を行う。 ・ 地元の農水産物を使ったB級グルメなどをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハローワーク（町内向け）のものをつくる（昆布のアルバイト情報等） 	<p>※1-②に同じ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場体験の充実（他町へ行く等） ・ 長期的な資格取得講座 ・ 商業高校で一般向けに技術取得の講座（夏休み等に先生に協力してもらえないか？ 福島町ジョブカフェみたいなものがないか？） ・ 女性が興味を持つような習い事や教室を開く。 ・ モニター（ブログ）の就労支援 ・ イカ刺しを作る教室や、千軒そば打ち教室を行う。 ・ 地元の物を使ったB級グルメなどをつくる。
住民・事業者等の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的な参加 		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・ チャレンジショップの開設（若者や女性グループ、福島商業高校生等へ共創の働きかけ） ・ 町産品（水産物、農産物）等の直販所の設置（福島商工会、観光協会との連携） ・ 利用可能な町内遊休地、施設の把握（空き施設バンク、まちづくり会社の設立） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3-①情報ステーションの設置との関連性は。 	

現存する施設の利活用ですか。新規建設ですか。

3 グループ

重要度・緊急度			
解決課題	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ①公設民営市場の開設等で若者の職場づくり、出会い・交流の場づくり	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ③地域の食材（豊富な水産・農産物）を使った飲食サービス等の起業支援	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ④福島町の家庭の「食」のブランド化
内 容	若者自身が求める環境（飲食・出会い、交流等）づくりに参加できる場として、また子育て中の母親の就労の場として、遊休施設を活用し公設民営市場等（地場産品活用のフードコート等）の設置により、新たな職種の開発を進める。	「食」をテーマとした新産業の育成と地域内回遊性の創出（中・外食等飲食）	「B級グルメ、地域内消費⇒マーケット拡大・全国発信」 地域の特産品、名物づくりの基本は地域の資源のブランド化にあります。町内の家庭でのイカ料理等から新たなブランドづくりを進める。
取り組み	※1-③に同じ ・「千軒そば」のような、地域の食材を使った飲食店の経営→ブランド化や観光PR	※1-③に同じ ・「千軒そば」のような、地域の食材を使った飲食店の経営→ブランド化や観光PR	※1-④と同じ ・ハローワーク（町内向け）のものをつくる（昆布のアルバイト情報等）
住民・事業者等の役割			
備 考	・ I-1-③との関連性は。	・ I-1-③との関連性は。	・ I-1-④との関連性は。

3 グループ

重要度・緊急度			
解決課題	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ⑥地元の木材（林業）活用による林業の活性化	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ⑥ブルーツーリズムやグリーンツーリズム、エコツーリズムの推進	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ⑦アクティブシニアと若者の協働
内 容	伐採事業を利用して木育や体験交流を促進し、雇用と交流人口を拡充する。	水産物、農産物等の地域特産品のブランド化と地産地消の推進と、観光資源との連動した産業の活性化に努める。	シニアが有するその豊富な知恵と技術、経験を活かし、自らの可能性を拓ける「起業の場」を若者に提供し、地域資源を最大限に活かして、若者と共に幅広い方面で活躍する「活動の場」を創出する。
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・シーカヤックの作成 ・地域の木材を子どものおもちゃや建物への使用 <div data-bbox="825 667 1104 747" style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 2px; display: inline-block;">どの範囲での使用が可能ですか</div>		<p>※1-②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験の充実（他町へ行く等） ・長期的な資格取得講座 ・商業高校で一般向けに技術取得の講座（夏休み等に先生に協力してもらえないか？ 福島町ジョブカフェみたいなものがないか？） ・女性が興味を持つような習い事や教室を開く。 ・モニター（ブログ）の就労支援 ・イカ刺しを作る教室や、千軒そば打ち教室を行う。 ・地元の物を使ったB級グルメなどをつくる。
住民・事業者等の役割			
備 考			<ul style="list-style-type: none"> ・ I-1-④との関連性は。 ・ 仕組み等についての具体的な提案はありませんか？

3 グループ

重要度・緊急度			
解決課題	I-3. 雇用・就業・起業支援等の情報ステーションの設置 ①雇用・就業・起業支援等の情報ステーションの設置		
内 容	町内に求人・求職・起業支援等の情報が一元化された相談場所を設置することにより、若者に町内企業の雇用情報を的確に提供し、水産業の発展可能性を積極的に伝えるなど、水産業への実知識を高めることで、町内での就業機会を拡充する。 また、地域の商工業従事者や勤労者の仕事のための学習機会を提供し、学びと仕事の連動をめざす。		
取り組み	※1-④と同じ ・ハローワーク（町内向け）のものをつくる （昆布のアルバイト情報等）		
住民・事業者等の役割			
備 考			

I 多様な雇用・就労の場の創出に向けた取り組み (案)

4 グループ (重要課題)

重要度・緊急度	第1位	第2位	第3位
解決課題	1-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出 ④町内の企業情報や求人情報の一元的な提供	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ③地域の食材（豊富な水産・農産物）を使った飲食サービス等の起業支援	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ⑤地元の木材（林業）活用による林業の活性化
内 容	水産業の町として水産業（昆布等）で所得を得られることや、町内企業の求人情報等を若者に一元的に提供する。 少し説明を加えてくれませんか	「食」をテーマとした新産業の育成と地域内回遊性の創出（中・外食等飲食）	伐採事業を利用して木育や体験交流を促進し、雇用と交流人口を拡充する。
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昆布養殖事業のモデル化の確立 ・ メールマガジンを活用した求人情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品開発にかかる経費の補助 特色ある「食」が少なく開発が必要。 例：町内の各種飲食店に黒米を使用した特色ある料理の開発、提供への取り組みに参加を求める。 ※2-④と統合して取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元木材を活用した木育の推進 （総合体育館等に木材を活用したプールやおもちゃがあるスペースの整備） 現在の総合体育館でのイメージはありますか。
住民・事業者等の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁組、漁業者、役場協力のもと、経費等の把握を行い事業マニュアルを作成する。 ・ メールマガジンのこまめな発行と各事業所によるアルバイト等の求人情報の把握。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内飲食店に新商品を検討してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の子ども達にたくさん活用してもらう
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3-①情報ステーションの設置と連動 	<ul style="list-style-type: none"> ※2-④と連動 ・ 地域の「食」の見直しと整理 ・ 農村生活改善グループとの連携（水産商工課・ふくしま健康料理レシピ郷土料理編） ・ イカ、昆布等水産物、千軒そば、黒米（夢むらさき）、シイタケ、トウモロコシ等の地場産品の地域内ブランド化 	

4グループ

重要度・緊急度			
解決課題	<p>1-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出</p> <p>①スモールビジネス、コミュニティビジネス等の起業に向けた支援策の充実</p>	<p>1-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出</p> <p>②若者、女性等への就労支援を拡充</p>	<p>1-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出</p> <p>③生活店舗、娯楽施設の誘致、豊かで潤いのある生活環境づくりの推進</p>
内 容	<p>市街地にある利用可能な遊休施設については、安全性を確保したうえで、若者や家庭や子どもを持つ女性の新たな雇用・就労の場として、目的、活用方法を明確化し、生活関連サービス提供拠点として活用する。</p>	<p>中高校生の職場体験、若者、女性等への技術習得機会を多様化、拡充する。</p> <p>若者の自立に向けた地域教育や就職（再就職）支援のための学習機会や起業支援、アラサー・アラフォー世代の女性のニーズに応じたキャリア活用、キャリアアップの機会を創出する。</p>	<p>商店主等の協力を得て、イカ・昆布など地域の特産品の活用と、カフェ、ファミレス等の飲食、ファッション衣料店、書店、CDショップ、ゲームセンター、カラオケ等の誘致により若者、女性の就労の場を拡充する。</p>
取り組み			<p>・商店街の活気、町内での消費が低下している。商店街の活性化に向け、若者・女性層の生活消費を町内に呼び込むため、若者・女性の協力を得て、商工会、商店街連合会等と行政が協働し、モデル店舗の設置に取り組む。</p>
住民・事業者等の役割			<p>・若者のニーズを調査する（商店等）</p>
備 考			<p>・町内各商店との連携方法の検討（商工会、商店街連合会等との連携）</p>

4グループ

重要度・緊急度	重要度は高い、緊急度は中		
解決課題	1-1. 起業家育成、仕事起こし、企業誘致などによる多様な雇用・就労の場の創出 ⑤就労機会、異性との出会い・交流機会づくり	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ①公設民営市場の開設等で若者の職場づくり、出会い・交流の場づくり	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ②集積された地域資源活用
内 容	若者や女性が安心して就労できる環境を整えるとともに、就労の場での出会い・交流を拡充する機会づくりを推進する。	若者自身が求める環境（飲食・出会い、交流等）づくりに参加できる場として、また子育て中の母親の就労の場として、遊休施設を活用し公設民営市場等（地場産品活用のフードコート等）の設置により、新たな職種の開発を進める。	道の駅、みなと交流館、フェリー乗り場、キャンプ場、テニスコート、総合体育館、各種生涯スポーツ施設、海峡横綱ビーチ、横綱記念館、青函トンネル記念館等のレジャー観光資源と水産物、農産物等地元産品の活用と、多様なイベント開催との連動によりレジャー・スポーツ、観光の仕事化を進め、町の個性のPRと働く場、出会い・交流の場を拡充する。
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも子どもを預かってもらえる子育て環境の整備（預かり保育の拡充） ・各種事業所等が連携した定期的な合コンの開催 		
住民・事業者等の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・行政による預かり保育の見直し・拡充 ・町内企業に協賛してもらい、各企業の独身者に積極的に参加するよう支援してもらう。 		
備 考			

4 グループ

重要度・緊急度			
解決課題	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ④福島町の家庭の「食」のブランド化	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ⑥ブルーツーリズムやグリーンツーリズム、エコツーリズムの推進	I-2. 新たな産業（商・観光等）の創出 ⑦アクティブシニアと若者の協働
内 容	「B級グルメ、地域内消費⇒マーケット拡大・全国発信」 地域の特産品、名物づくりの基本は地域の資源のブランド化にあります。町内の家庭でのイカ料理等から新たなブランドづくりを進める。	水産物、農産物等の地域特産品のブランド化と地産地消の推進と、観光資源との連動した産業の活性化に努める。	シニアが有するその豊富な知恵と技術、経験を活かし、自らの可能性を拓ける「起業の場」を若者に提供し、地域資源を最大限に活かして、若者と共に幅広い方面で活躍する「活動の場」を創出する。
取り組み	※2-③と統合して取り組む ・新商品開発にかかる経費の補助 特色ある「食」が少なく開発が必要。 例：町内の各種飲食店に黒米を使用した特色ある料理の開発、提供への取り組みに参加を求める。		
住民・事業者等の役割			
備 考			

4グループ

重要度・緊急度			
解決課題	I-3. 雇用・就業・起業支援等の情報ステーションの設置 ①雇用・就業・起業支援等の情報ステーションの設置		
内 容	町内に求人・求職・起業支援等の情報が一元化された相談場所を設置することにより、若者に町内企業の雇用情報を的確に提供し、水産業の発展可能性を積極的に伝えるなど、水産業への実知識を高めることで、町内での就業機会を拡充する。 また、地域の商工業従事者や勤労者の仕事のための学習機会を提供し、学びと仕事の連動をめざす。		
取り組み			
住民・事業者等の役割			
備 考			